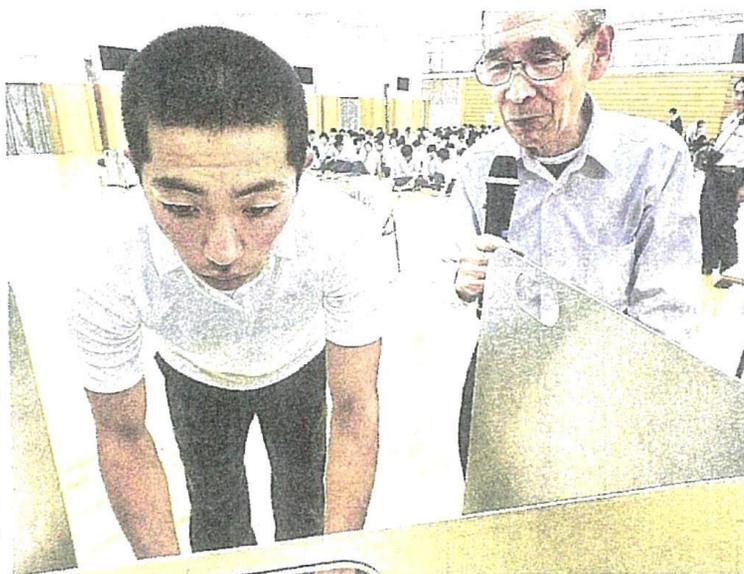


模擬投票で政治参加を体験 都市大塩尻高 主権者教育で



説明を受けながら記載台で
投票用紙に記入する生徒

18歳選挙権元年
信州

塩尻市の東京都市大塩尻高
校の3年生約230人が1
日、10日投票の参院選を前
に市選挙管理委員会から選挙
について学び、一部の生徒が
模擬投票をした。主権者教育

の一環で、同校によると、3
年生のうち約70人が有権者。
選挙区と比例代表の違いなど
を聞き、5人が架空の候補者
や政党に票を投じた。
市選管の贄川守正委員長
(75)が国政選挙と地方選挙の
違いを説明し、新聞や選挙公

報、街頭演説などで情報を集
められると紹介。「考えをし
っかり持ち、自分や国、地域
の将来をよく考え、積極的に
投票してほしい」と訴えた。
代表の生徒は1人ずつ、県
区と比例代表それぞれの投票
用紙の交付を受け、記載台で
架空の候補者や政党名を記入
し、投票箱に入れた。体験し
た熊井颯さん(18)は「架空
の形でも国の政治に関わる緊
張感があった。10日は部活の
帰りに投票へ行こうと思う」
と話していた。
学年主任の中島俊弥教諭
(51)は「おかしい、と文句を
言っているだけでは世の中は
変わらない。1票を無駄にせ
ず、責任を持って投票を」と
呼び掛けていた。